



リポカリン-2 はヒトでは肥満、インスリン抵抗性および高血糖と関係する炎症マーカーか

KEYWORDS// リポカリン-2, 炎症マーカー, 糖尿病

リポカリン-2 は 25 kDa の糖蛋白質であり, 種々の腎障害の早期発見の有用なマーカーである. この物質が脂肪組織と肝臓で顕著に発現されることから, 著者らはその肥満関連病理との関係について検討した. 検討では, 肥満マウスおよび痩せた同腹子の mRNA および血清リポカリン-2 を定量するために real time PCR とイムノアッセイを用いた. また, 血清リポカリン-2 と種々の代謝物質および炎症物質との関係について過去の研究参加者から募集した 229 人を対象に解析し, 糖尿病患者 32 人においてはインスリン感作薬剤である rosiglitazone の血清リポカリン-2 への影響について評価した. 肥満マウスでは痩せた同腹子と

比較して, 脂肪組織および肝臓のリポカリン-2 の mRNA 発現とその循環濃度は有意に増加していた. これらの変化は rosiglitazone 投与後には正常化した. ヒトでは, 循環リポカリン-2 は脂肪蓄積, トリグリセライド血症, 高血糖, インスリン抵抗指数および CRP と正相関し, HDL-コレステロールとは負相関した. 血清リポカリン-2 は肥満とその代謝性合併症に密接に関連した炎症マーカーである.

(Wang Y, Lam KSL, Kraegen EW, et al : Lipocalin-2 is an inflammatory marker closely associated with obesity, insulin resistance, and hyperglycemia in humans. Clin Chem 53 : 34-41, 2007

(埼玉県立大学短期大学部 鈴木優治)